

茨城県地域訓練コンソーシアムによる離職者向け 職業訓練コースの開発及び検証に係る報告書



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部
茨城職業能力開発促進センター

ポリテクセンター茨城

はじめに

離職者を対象とした短期間の委託訓練や求職者支援訓練といった職業訓練プログラムは、これまで民間教育訓練機関等において実施され、そのノウハウが培われてきましたが、一方で、今後、民間教育訓練機関等を活用した委託訓練において、地域で必要な能力開発機会を確保する際には、より就職可能性を高めることができる職業訓練コースの提供が求められています。

厚生労働省の「非正規雇用労働者の能力開発抜本強化に関する検討会」の報告書（平成24年12月21日公表）においても、「身近な地域で、必要な訓練を受けることができるよう、地域の能力開発の拠点として、コンソーシアム方式で、地域の公共職業訓練機関、大学等教育機関を活用して、経済団体等と連携・協力しながら、地域や社会全体の人材ニーズを踏まえた能力開発機会を身近な場で提供していくことが必要である」として、その際には「公共職業訓練機関や業界団体等が連携・協力して効果的な訓練カリキュラム等を開発・普及させていくこと」や「民間職業訓練機関の質を向上させること」が重要な取組とされています。

また、政府の「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）においても、「地域レベルの産学官コンソーシアムの組成による就職可能性を高める訓練コースの開発・実施等によるフリーター等の正規雇用化支援を実施する」と明記されています。

これらを踏まえ、企業ニーズ等を踏まえた、より就職可能性を高めるための職業訓練コースを開発するため、茨城職業能力開発促進センターにおいて、茨城県、茨城労働局、企業・事業主団体、労働組合、民間教育訓練機関等によるネットワークを構築し、茨城県地域訓練コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）を組織しました。当該コンソーシアムにおいて、農業と観光の2分野において職業訓練コースを開発し、委託訓練の実施を通じた訓練カリキュラムの検証を行い、その結果を踏まえてモデルカリキュラムとして取りまとめました。

本報告書はこれら一連の成果を取りまとめたものです。本事業の成果が、今後の職業訓練の参考となれば幸いです。

最後に、本事業の推進にあたって多大なご協力をいただいたコンソーシアム委員並びに関係各位に対し、厚くお礼を申し上げます。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
茨城支部茨城職業能力開発促進センター所長 永野朝子

目 次

1	コンソーシアムの概要	3
2	茨城県地域訓練コンソーシアム委員	4
3	分野選定の背景	5
4	検証訓練の実施状況及び検証結果	9
5	本事業の成果物について	15
	資料集	18
	・ 委託訓練モデルカリキュラム	
	・ 科目の内容・細目シート	
	・ 使用教材リスト	

1 コンソーシアムの概要

地域の人材ニーズ等を踏まえた職業訓練コースを開発するため、茨城職業能力開発促進センターにおいて、茨城県、茨城労働局、企業・事業主団体、労働組合、工業高校及び民間教育訓練機関等によるネットワークを組織し、企業・事業主団体が求める知識・能力を職業訓練に取り込む連携体制（地域コンソーシアム）を構築しつつ、離職者向け職業訓練コースの開発を行った。

なお、コンソーシアムの開催概要については以下のとおり。

開催回	開催日	議題等
第1回	平成27年 7月 1日	<ul style="list-style-type: none">・茨城県地域訓練コンソーシアムの設置について・コンソーシアム事業の概要・離職者向け職業訓練コースの分野選定及びカリキュラム概要について・今後のスケジュールについて
第2回	平成27年10月27日 ～30日(持ち回り)	<ul style="list-style-type: none">・カリキュラム案の精査・確定について・受講者の募集について
第3回	平成28年 7月 7日	<ul style="list-style-type: none">・離職者向け職業訓練コースの実施状況等について・在職者向け職業訓練コースの分野選定等について
第4回	平成29年 3月 6日	<ul style="list-style-type: none">・検証訓練実施結果の検証等について・人材育成研究会結果の報告について

2 茨城県地域訓練コンソーシアム委員

所属及び役職等	備考
茨城大学人文学部教授	
茨城労働局職業安定部地方訓練受講者支援室長	
茨城県商工労働部職業能力開発課長	
茨城県専修学校各種学校連合会事務局長	
常総市産業労働部長	
茨城県経営者協会専務理事	
茨城県商工会連合会専務理事	
茨城県中小企業団体中央会専務理事	
日本労働組合総連合会茨城県連合会事務局長	
茨城県私鉄労働組合連合会書記長	
日本労働組合総連合会茨城県連合会女性委員会副委員長	
公益社団法人茨城県農林振興公社専務理事	
一般社団法人茨城県観光物産協会事務局長	
茨城県立総和工業高等学校長	平成28年度より参加
茨城職業能力開発促進センター所長	

3 分野選定の背景

茨城県において開発する離職者向け訓練コースとして、県の産業施策及び求人・求職者の動向から、農業分野、観光分野、定住外国人向け分野、建設分野が候補となった。

上記4分野について、求人・求職のニーズがあること、より就職可能性が高まる訓練コースの開発が可能であるか等について検討し、茨城県地域訓練コンソーシアムにおいて、以下2分野を選定した。

● 農業分野

(1) 選定の考え方

企業的な農業経営を行っている法人形態の農家である農業生産法人はここ数年で急増し、1995年の段階では全国で4,150団体だったのが2009年には11,064団体となり、規模拡大などにより求人を増加しているが、茨城県においても、これら農業生産法人や農家等からの求人は増加傾向にある。

農業分野に関する離職者訓練は、茨城県内では水戸市に「農業実践科」(定員10名)が1コースあるのみで、コースの概要は「就農するために必要な農業の基礎的知識を習得するほか、農業実習や農業機械の操作方法などの実技を主体とした訓練により技能を習得」する内容となっている。今回、当該訓練内容に農業簿記・パソコン事務処理の習得を追加して既存コースをブラッシュアップすることにより、求人が増加傾向にある農業生産法人等が求める人材に対応できると考えられる。

(2) 地域の状況

① 行政の取組み

国では「農林水産業・地域の活性創造プラン」や新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定し農政改革を推進するとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」により地方創生を進めることとしている。

茨城県では、国の動きを踏まえ、「茨城農業改革大綱(2011-2015)」に基づき、新たな国の施策も積極的に取り入れながら、担い手への農地集積・集約化などによる生産コストの削減、ブランド力の強化や6次産業化の推進等による本県農産物の付加価値向上、輸出促進を含む販売戦略の展開、人口減少社会における農村の活性化などに重点をおいて、茨城農業改革に取り組んでいる。

また、安全・安心で高品質な農産物を安定的に供給できる産地づくりを基本に、「食料」「農業」「農村」の3つの視点から各種施策を展開するとともに、震災からの復旧・復興、原発事故に伴う風評の払しょくに全力で取り組んでいる。

② 産業動向及び技術動向

茨城県の平成25年度の農業産出額は前掲大綱の目標(4,300億円)を

上回る 4,356 億円となり、6 年連続で全国第 2 位を堅持するとともに、平成 26 年の東京都中央卸売市場における取扱高も本県産青果物が 11 年連続で日本一を達成している。

茨城県の平成 27 年度農林水産部基本方針によると、農業・農村の振興のため、県内農産物の付加価値向上と販売戦略の展開として、「いばらき農林水産物ブランディングビジョン」に基づいたブランドの牽引役となる商品づくりの推進及び高級品の販路拡大、また、「6 次産業化オープンラボラトリー」等の活用により 6 次産業化や農商工連携を推進することとしている。

(3) 求人・求職ニーズ

① 求人企業の動向

茨城労働局の求人・求職情報によると、産業別で「農林漁業の職業」の有効求人者数（パートを含む常用）は、平成 27 年 3 月 420 人から平成 28 年 3 月 422 人と横並びの状況となっている。

なお、茨城県農林振興公社（無料職業紹介所）に登録している農業法人等の求人は常時 100 人程度（正社員）あり、その数は増加傾向にある。

② 求職者の動向と傾向

全国の農業就業人口は平成 7 年 414 万人から平成 22 年 261 万人と 15 年で 4 割近く減少している中、茨城労働局の求人・求職情報によると、茨城の産業別で「農林漁業の職業」の有効求職者数（パートを含む常用）は、平成 27 年 3 月 355 人から平成 28 年 3 月 348 人とほぼ横並びの状況となっている。

(4) 職業能力開発に対する要望

① 農業生産法人や農家等からの求人は増加傾向にあり、茨城県においても、求人の多い農業生産法人の従業員（事務、企画及び農業機械のオペレーターを含む）や農業関連作業員など実践力があり即戦力となる人材が求められている。

② 茨城労働局が平成 26 年度に茨城県内の市町村等に求職者支援訓練に関する地域ニーズ調査を行ったところ、13 の市町村で「農業」に関する訓練の要望及びコメントが回答されている。

(5) 就職の見通し

① 農業生産法人はここ 10 数年で急増しており、1995 年の段階では全国で 4,150 団体だったのが 2009 年には 11,064 団体と増加しており、各農業生産法人は規模拡大などにより求人を増加している。

② 農業分野に関する離職者訓練を実施している教育訓練機関にヒアリングしたところ、農業生産法人の増加に伴い、茨城県農林振興公社を通じた求人が年々増加しており、より条件の良い就職が可能な状況になってきているとの回答を得た。

● 観光分野

(1) 選定の考え方

茨城県観光物産協会がこれまで取り組んでいる事業計画によると、依然として残る原発事故等に伴う風評の払しょく対策に引き続き取り組んでいくとともに、優れた観光資源及び県産物、交通アクセス、更には農業、漁業、自然とのふれあいなど様々な体験ができる茨城県の優位性についてキャンペーン等を通して強くアピールし誘客促進に努めることとしている。

観光分野に関する離職者訓練はつくば市に「観光ビジネス科」（定員 20 名）が 1 コースあるのみで、コースの概要は「旅行業務に関し、法律・約款をはじめとして、観光に関する知識を習得して添乗員に必要な「旅程管理主任者」の資格取得及び O A 機器等の基本的な知識・技術を習得」する内容となっている。今回、当該訓練内容に販売サービス・介助サービス・外国語の習得を追加し既存コースをブラッシュアップすることで、就職に関連する観光関係の職種は多岐にわたることとなり、就職可能性が高まると考えられる。

(2) 地域の状況

① 行政の取り組み

厚生労働省は第 9 次職業能力開発基本計画において、雇用を確保していくためには今後成長の見込まれる分野の発展を確実なものとしていくことは重要であるとしており、対象分野として「観光」が取り上げられている。

茨城県では、茨城県を取り巻く環境変化や東日本大震災による影響に的確に対応した魅力ある観光地づくりを目指した新たな計画を策定することを趣旨として、平成 23 年 7 月に「茨城県観光振興基本計画」を策定し、宣伝誘致活動の戦略的な推進、観光地の魅力向上とネットワークの形成、ニューツーリズムの推進、国際観光の推進、受入れ体制の充実強化を基本方針に、平成 23 年度から 5 力年計画で取り組んできたところであり、体験プログラムの開発や観光客の受け入れを促進するための体制づくりや人材の育成を図るとともに、専門家による講習会の開催等を通じたおもてなしの向上や地域の観光振興を担う人材の育成に取り組んでいる。

また、「いばらき観光おもてなし推進条例」が議員提案により制定され、平成 26 年 11 月 19 日に施行されたことにより、県、市町村、観光事業者、観光関係団体及び県民が一体となって、「おもてなし日本一」を目指して観光の振興を推進している。

② 産業動向及び技術動向

東日本大震災や原発事故による風評等の影響で観光客の入込動向に落ち込みがあったものの、平成 26 年 5 月 9 日茨城県発表の「ゴールデンウィーク期間における県内観光地等の入込客数について」では対 25 年比較

8.6%増、対24年比37.9%増、震災前の平成22年に比べても24.6%増となり、県全体で着実な回復が見られる。

国土交通省「宿泊旅行統計調査（平成26年年間値速報）」では、延べ宿泊者数は5,420千人で対前年比5.2%、また、外国人延べ宿泊者数は93千人で対前年比5.2%と増加している。

(3) 求人・求職ニーズ

① 求人企業の動向

茨城労働局の求人・求職情報によると、職業別でサービスの職業中「接客等の職業」の有効求人者数（パートを含む常用）は、平成27年3月1,726人から平成28年3月1,766人と増加している。

② 求職者の動向と傾向

茨城労働局の求人・求職の情報によると、産業別でサービスの職業中「接客等の職業」の有効求職者数（パートを含む常用）は、平成27年3月751人から平成28年3月652人と減少している。

しかしながら、茨城県の観光業界では、「茨城県観光振興基本計画」において、観光宣伝活動について、県民や民間企業等を含め官民一体の体制で充実を図ることとし、客の受け入れを促進するための体制づくりや人材の育成を図るとともに、地域の観光振興を担う人材の育成を図ることとしている。

(4) 職業能力開発に対する要望

① 茨城県観光物産協会の事業計画によると、外国人観光客誘客促進については、これら観光客に対して丁寧かつスムーズな案内サポートが可能となる体制を整備し、幅広い外国人観光客の誘客を促進することとしている。

同協会への事前のヒアリングでは、特に茨城空港に就航している中国からの直行便の旅客への対応として、初級程度の中国語会話の習得が要望された。

② 茨城労働局が平成26年度に茨城県内の市町村等に求職者支援訓練に関する地域ニーズ調査を行ったところ、11の市町村で「観光関連」に関する訓練の要望及びコメントが回答されている。

(5) 就職の見通し

① 平成24年度から観光分野に関する離職者訓練を実施している教育訓練機関にヒアリングしたところ、就職率は平成25年度の63.2%から平成26年度は70%となっており、上昇傾向にある。

② 観光分野と基本的スキルは同様である「ブライダルコース」の離職者訓練を実施している教育訓練機関にヒアリングしたところ、就職はホテル・結婚式場で就職率は近年ほぼ100%に近い状況である。

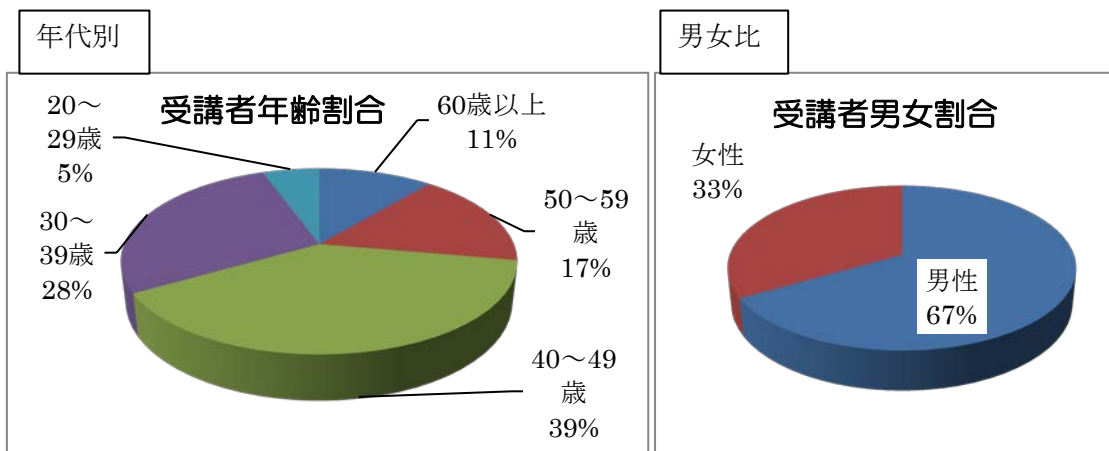
4 検証訓練の実施状況及び検証結果

農業分野「農業者育成科」

訓練実施機関	訓練開始日	訓練終了日	訓練期間	定員
鯉淵学園農業栄養専門学校	平成 28 年 1 月 25 日	平成 28 年 10 月 24 日	9 か月	20 人

応募・入所状況

応募者数	入所者数	(うち女性)	20代	30代	40代	50代	60代以上
22人	18人	6人	1人	5人	7人	3人	2人



ハローワークでの通常の募集のほか、新聞広告等の広報を行ったものの、就農希望者へ直接周知できていないこと等理由から当初の応募状況は低調であった。その後、茨城県農林振興公社及び委託先等から協力をいただき、各種就農イベント等において継続的に広報を行ったことや、茨城労働局の協力のもと県内に加え、千葉県や東京都など近隣地域ハローワークへの募集依頼の効果もあり、最終的には定員以上の応募があった。

また、就農イベントやハローワーク説明会の女性参加者に対しての丁寧な説明等が奏功し、入所者の33%が女性となった。

就職の状況（就職率76.5%、関連就職率92.3%）

修了者数	(うち女性)	(うち就職)	中退者数	(うち女性)	(うち就職)
16人	5人	12人	2人	1人	1人

修了者は16名で訓練修了時の就職率は41.2%であったが、引き続き就職支援を継続し、修了3か月後の就職率は76.5%となった。

訓練修了後にも農業分野への就職を目指し、一人ひとりが真剣に就職活動を行ったことで、関連分野への就職率は92.3%と非常に高い率につながった。

また、未就職者の中には農業の自営を目指した準備を進めている者があるなど、現時点の就職率以上に訓練の効果があったと考えられる。

農業者育成科カリキュラム

訓練科名	農業者育成科		就職先の 職 務	農業生産法人（事務、企画、 農業機械のオペレーター含 む）、農業関連産業等農耕作 業員他	
訓練期間	平成 28 年 1 月 25 日～ 平成 28 年 10 月 24 日（9 か月）				
訓練目標	①農業の基礎的な知識、農作業に不可欠な農業機械の操作を習得する。 ②農業経営を把握するために農業簿記を習得する。 ③作付け計画や報告書、作業日誌などのパソコン事務処理を習得する。 ④商品開発を含めた販売業務知識を習得する。				
仕上がり像	農業の基礎的知識を得、農作業に不可欠な農業機械の操作、農業簿記、パソコン操作（ワード・エクセル）を習得することで即戦力人材となる。				
訓 練 の 内 容	科 目		科 目 の 内 容	訓練時間	
	学 科	入所式等	入所式、修了式		
		農業基礎	農業全般の基礎知識（稲作・土作り・肥料・植物生理・ 野菜・温室基本栽培・有機農業・育苗・作物保護）		5 1
		栽培・飼育計画	栽培計画、飼育計画、栽培暦、飼育暦		9
		農業経営	農業経営、農業法人、流通、関係法令		9
		農業機械の基本操作他	安全基本操作、保守点検、農具操作方法、農具整備		9
		家畜飼育	家畜の一生、家畜の特性、繁殖、飼育と栄養、病気と予 防衛生、生産、畜舎		9
		農畜産加工	農畜産加工、農作物の商品化		9
		農業簿記	農業を把握するために農業経営ソフト（塩光輝 だれで もできる新エクセルで農業青色申告）を使用実施		3 0
		パソコン事務処理	ワード・エクセルによるパソコン事務処理		2 1
		販売業務実習	販売業務基礎知識、マーケティング概論、販売経営管理		3 9
		安全衛生	安全点検、作業着の準備・確認		6
就職支援		応募書類の作成指導、面接指導、ビジネスマナー、キャ リアコンサルティング、就職相談等		2 7	

実 技	農業実習	稲作（準備、植え付け、管理、収穫）、野菜基本栽培、露地・温室野菜栽培、育苗、作物保護、有機農業	5 6 7
	農業機械の基本操作他	安全基本操作、保守点検、農具操作方法、農具整備	3 0
	畜産実習	家畜飼育、飼育管理	1 8
	農畜産加工	農畜産加工、農産物の加工	4 2
	職場体験等	農業生産法人、職場体験、職場見学	3 0
	資格取得（目標資格）	小型車両系建設機械・小型フォークリフト作業免許	2 4
訓練時間総合計 9 3 0時間（学科2 1 9時間、実技7 1 1時間）			
主要な機器設備 (参 考)	プロジェクター用スクリーン		

農業者育成科においては、訓練期間を9ヵ月、訓練開始月を1月としたことにより、育苗期間から秋野菜の収穫まで、おおよそ1年間の季節ごとの農作業を習得できるように設定して訓練を実施した。

訓練の実施に当たっては、学科約20%、実技約80%の割合で、学科では農業基礎科目を中心することで農業全般の知識を習得できるように、また実技では実習の中で技能・技術を習得できるようにした。

特に農業経営を把握するために「農業簿記」を習得する科目を設定し、訓練時間は30時間とした。

また、訓練開始時や訓練期間中に訓練科の改善・見直しや満足度に係る受講者アンケートを複数回実施しているが、カリキュラムの見直しに関し多数を占める意見は聞かれなかった。

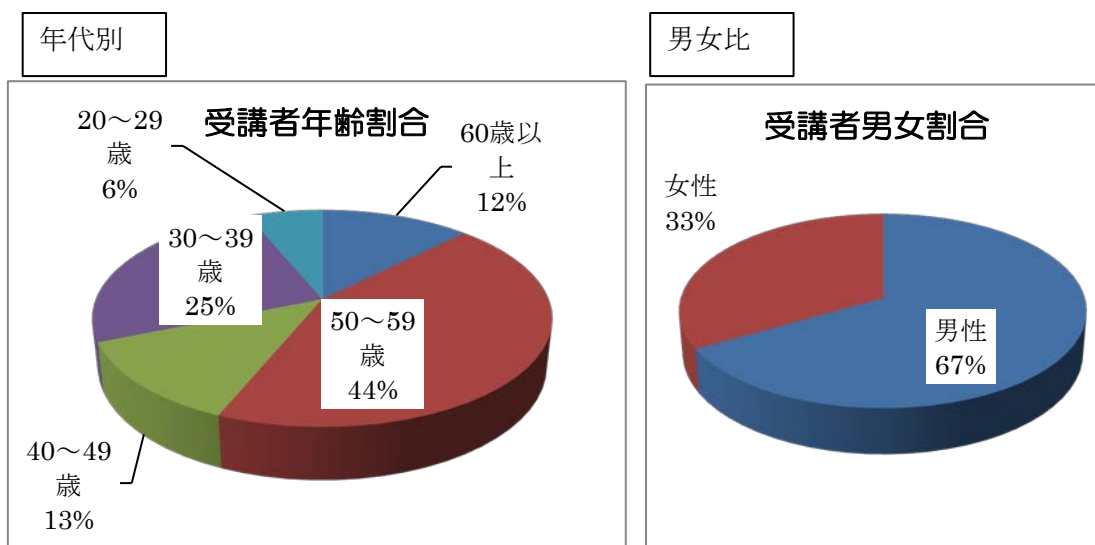
なお、訓練実施機関からは、病害などを見せる農業実習などにおいて、病害虫等に関する常時携帯できるハンドブックサイズのテキストも持つことができれば、より有効なカリキュラムになると意見をいただいた。

観光分野「観光総合ビジネス科」

訓練実施機関	訓練開始日	訓練終了日	訓練期間	定員
インティオ学院 つくば校	平成 28 年 3 月 1 日	平成 28 年 8 月 31 日	6 か月	20 人

応募・入所状況

応募者数	入所者数	(うち女性)	20代	30代	40代	50代	60代以上
18人	16人	5人	1人	4人	2人	7人	2人



農業者育成科の募集活動を検証し、当初から各種就職関係説明会等で広報を行ったものの、観光分野への就職希望者へ直接周知できていないこと等の理由から当初の応募状況は低調であった。その後、労働局と打合せを行い県南・県西を中心としたハローワーク担当窓口への募集依頼の効果があり、定員に対し9割の応募があった。

就職の状況（就職率75.0%、関連就職率66.7%）

修了者数	(うち女性)	(うち就職)	中退者数	(うち女性)	(うち就職)
12人	4人	8人	4人	1人	4人

中途退所者は4人となっているが、うち3人は関連就職による中途退所であった。

修了者は12人で訓練修了時の就職率は56.3%であったが、引き続き就職支援を継続し、修了3か月後の就職率は75.0%となった。

訓練委託先及び部外講師のあっせんにより就職が決定した者もいるなど、丁寧な就職支援の効果が、高い就職率につながったものと思われる。

観光総合ビジネス科カリキュラム

訓練科名	観光総合ビジネス科		就職先の 職務	旅行会社、ホテル、地域案内、 地域特産品等製造販売会社等
訓練期間	平成28年3月1日～平成28年8月31日(6か月)			
訓練目標	①旅行業界に求められる基本的な知識を習得する。 ②販売サービス業における業務知識を習得する。 ③サービス業における介助方法を習得する。 ④ビジネスに必要な語学「英語」及び「中国語」(基礎)を習得する。			
仕上がり像	旅行会社等で受付業務、添乗員業務、旅行プランの作成等ができる即戦力人材となる。また、サービス業における介助技術の習得により高齢者及び障害者への適切な対応、外国語(英語)の習得を通して外国人観光客への対応ができる人材となる。			
訓 練 の 内 容	科 目	科 目 の 内 容		訓練時間
	入校式等	入校式、オリエンテーション、修了式		
	安全衛生	VDT作業における労働衛生管理		3時間
	就職支援	就業意識、キャリアコンサルティング、ジョブカード作成支援、応募書類について、面接指導、模擬面接の実施、合同面接会の実施、ビジネスマナー研修		54時間
	観光学基礎	観光概論、観光関連事業、観光政策と観光行政、旅行業のあらまし		30時間
	国内旅行業務	国内旅行業務の基礎知識、旅行会社のしくみ、ホテル概論、危機管理対策、国内地理、観光地・温泉地		51時間
	旅行業法令・約款	旅行業法、旅行業約款、旅程管理各種約款、旅程管理の適正と知識、国内旅行実務料金、旅程管理業務と修了試験		60時間
	いばらき観光学	茨城県の観光分野特性・市場分析・職業人講話・現場見学・ロールモデル・課題に対する課題解決企画講座・模擬ツアー企画・模擬ツアーの実施・茨城観光提案企画作成・外国人目線で企画作成・おもてなし講座・観光分野での助成金補助金活用・プレゼンテーショントレーニング		96時間
	販売業務基礎	小売業の役割と現状、卸売業の役割と現状、流通業のツールとソリューション、流通業の主要活動、物流関連業務、サービス業のビジネスモデル、流通業の今後		30時間
	マーケティング概論	顧客管理・顧客ニーズ、消費者行動とその分析・販売促進・地域を活かしたマーケティング		30時間
販売・経営管理	消費者基本法と消費者契約法、個人情報保護法、主な経営分析指標		21時間	

	サービス介助知識	ホスピタリティ・マインド, ノーマライゼーション, 高齢社会の理解, 高齢者への理解と介助, 障がい者への理解と介助, 障がい者の自立支援について	57 時間
	外国語会話 (英語)	ビジネス (添乗) に必要な基本的な英会話の習得	72 時間
	外国語会話 (中国語)	初級レベルの中国語の理解	12 時間
実 技	観光実務演習	観光客への対応、カウンター業務、案内演習、キャンセル対応、クレーム対応	27 時間
	旅行企画演習	企画旅行商品の作成およびプレゼンテーション、添乗業務の習得、模擬ツアーの実施	30 時間
	職場体験	旅行会社、観光地、観光案内所での職場体験	18 時間
	販売スキル実習	販促方法、ラッピング技術、POP 演習、店舗レイアウト疑似体験、実店舗の見学および従事者との意見交換	39 時間
	サービス介助実習	高齢者疑似体験、車いす操作方法・移乗訓練、聴覚障がいの方への介助、歩行が不自由な方への介助、視覚障がいの方への介助・演習	18 時間
	英語演習	英語版パンフレットを用いた読解演習、英語による案内文章の作成演習、外国人とのコミュニケーション実習	24 時間
	OA 機器操作	文書作成ソフトを使ってのビジネス文書、チラシ作成、表計算ソフトを使っての資料分析、データベース管理、プレゼンテーション作成ソフトを使ってのプレゼンテーション演習	30 時間
訓練時間総合計 702 時間 (学科 516 時間、実技 186 時間)			
主要な機器設備 (参 考)	プロジェクター、インターネット接続パソコン (各自 1 台)、レーザープリンタ		

観光総合ビジネス科においては、地域の特性とそれを踏まえた実際の企画立案を行う「いばらき観光学」という、より実践的な講座を取り入れた。

訓練の実施に当たっては、観光分野で働く企業人との接点を多く作り、途中何度か行う成果発表のプレゼンの日には企業担当者を招いたり、当該講座受講者だけを対象とした企業説明会を開催するなど、就職を常に意識し、かつ就職に結びつく訓練内容とした。

また、訓練開始時や訓練期間中に訓練科の改善・見直しや満足度に係る受講者アンケートを複数回実施しているが、カリキュラムの見直しに関し多数を占める意見は聞かれなかった。

なお、訓練実施機関からは、既存のテキストが存在しない「いばらき観光学」等について、モデルとなるテキストの作成または選定作業を行うことで、より有効なカリキュラムになるとの意見をいただいた。

5 本事業の成果物について

本事業の成果物として、コンソーシアムにおいて開発した上記3の離職者向け訓練コースが離職者訓練のカリキュラムとして効果的な内容となっているか、委託訓練の実施を通じて検証し、その結果を踏まえてモデルカリキュラムとして取りまとめた。

「農業者育成科」

農業者育成科の検証訓練の結果を踏まえ、1年間の季節ごとの農作業を習得できるようにするため、基本的なモデルカリキュラムの訓練期間は9か月間のままとしている。

なお、訓練実施に当たっての留意事項は以下のとおりである。

(1) 学科、実技

- ① 科目の内容に関しては十分な内容となっている。
- ② 訓練開始時に受講者から「最も関心がある、期待している」との意見があった「農業簿記」については、訓練終了後に「農業簿記は重要」「もっと分かりやすい内容に」「ピンポイントだけでよい」と意見が分かれており、理解力が個人により異なるため、指導等において工夫が必要である。
- ③ パソコン、機械操作においては、上達レベルが個人により異なるため、どのレベルに合わせて訓練を行うか等事前に委託先との調整が必要である。

(2) 就職支援

ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングは訓練期間中に3回以上行うことが望ましく、具体的には訓練開始時に受講者の経歴の棚卸や就職への意識付けを行い、訓練後半の就職活動を行う時期に2回以上実施することでより効果的に行うことができる。

(3) 関連資格等

任意受講によって取得可能な資格は、以下を想定している。

- ・ 小型車両系建設機械
- ・ 小型フォークリフト

また、資格取得を目指した科目ではなかったが、農業簿記については3級を受験した受講者10名中7名が、2級を受験した受講者4人中3名が資格を取得できるなど、大きな訓練効果があった。

なお、関連資格を含め多くの資格を取得する等理解力が優れた者もあり、レベルを合わせて訓練を行うことが困難な面もあった。

「観光総合ビジネス科」

観光総合ビジネス科の検証訓練の結果を踏まえ、就職について関連する職種が広がるようにするため、基本的なモデルカリキュラムとしては6か月のままとしている。

なお、訓練実施に当たっての留意事項は以下のとおりである。

(1) 学科、実技

- ① 受講者の評価及び多くの関連業種への就職状況から、多岐にわたる内容となっている。
- ② 語学等受講者のレベルに差がある科目については、どのレベルに合わせて訓練を行うか等事前に委託先との調整が必要である。

(2) 就職支援

ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングは訓練期間中に3回以上行うことが望ましく、具体的には訓練開始時に受講者の経歴の棚卸や就職への意識付けを行い、訓練後半の就職活動を行う時期に2回以上実施することでより効果的に行うことができる。

(3) 関連資格等

任意受験によって取得可能な資格は、以下を想定している。

- ・国内旅程管理主任者
- ・サービス介助士準2級

訓練計画を立てる際には、上記資格の試験日程を考慮して、カリキュラムを設定することにより、受講者のモチベーションを高めるとともに、訓練効果を高めることが期待できる。

なお、内容の深さ及び6カ月の訓練期間を考慮すると、観光業のより深い知識を得ることができる「国内旅行業務取扱管理者」の資格取得に向けた指導までが可能となる。

併せて、販売系に授業に関しては、「販売士2級」レベルの内容までカリキュラム時間内に習得が可能となる。

最後に、コースごとに①委託訓練モデルカリキュラム、②科目の内容・細目シート、③使用教材リストに整理し、別添のとおり資料集として取りまとめたので、ご活用ください。

資料集

I 農業分野

「農業者育成科」関連資料

資料 1-1	委託訓練モデルカリキュラム	18
資料 1-2	科目の内容・細目シート	20
資料 1-3	使用教材リスト	37

II 観光分野

「観光総合ビジネス科」関連資料

資料 2-1	委託訓練モデルカリキュラム	38
資料 2-2	科目の内容・細目シート	40
資料 2-3	使用教材リスト	59

委託訓練モデルカリキュラム

訓練科名	農業者育成科		就職先の 職務	農業生産法人・農業関連産業等農耕作業員他
訓練期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (9か月)			
訓練目標	①農業の基礎的な知識、農作業に不可欠な農業機械の操作を習得する。 ②農業経営を把握するために農業簿記を習得する。 ③作付け計画や報告書、作業日誌などのパソコン事務処理を習得する。 ④商品開発を含めた販売業務知識を習得する。			
仕上がり像	農業の基礎的知識を得、農作業に不可欠な農業機械の操作、農業簿記、パソコン操作（ワード・エクセル）を習得することで即戦力人材となる。			
訓練の内容	科 目	科 目 の 内 容		訓練時間
	入所式等	入所式、修了式		
	農業基礎	農業全般の基礎知識（稲作・土作り・肥料・植物生理・野菜・温室基本栽培・有機農業・育苗・作物保護）		5 1
	栽培・飼育計画	栽培計画、飼育計画、栽培暦、飼育暦		9
	農業経営	農業経営、農業法人、流通、関係法令		9
	農業機械の基本操作他	安全基本操作、保守点検、農具操作方法、農具整備		9
	家畜飼育	家畜の一生、家畜の特性、繁殖、飼育と栄養、病気と予防衛生、生産、畜舎		9
	農畜産加工	農畜産加工、農作物の商品化		9
	農業簿記	農業を把握するために農業経営ソフト（塩光輝 だれでもできる新エクセルで農業青色申告）を使用実施		3 0
	パソコン事務処理	ワード・エクセルによるパソコン事務処理		2 1
販売業務	販売業務基礎知識、マーケティング概論、販売経営管理		3 9	
安全衛生	安全点検、作業着の準備・確認		6	
就職支援	応募書類の作成指導、面接指導、ビジネスマナー、キャリアコンサルティング、就職相談等		2 7	

実 技	農業実習	稲作（準備、植え付け、管理、収穫）、野菜基本栽培、 露地・温室野菜栽培、育苗、作物保護、有機農業	5 6 7
	農業機械の基本操作他	安全基本操作、保守点検、農具操作方法、農具整備	3 0
	畜産実習	家畜飼育、飼育管理	1 8
	農畜産加工	農畜産加工、農産物の加工	4 2
	職場体験等 資格取得（目標資格）	農業生産法人、職場体験、職場見学 小型車両系建設機械・小型フォークリフト作業免許	3 0 2 4
訓練時間総合計 930時間（学科219時間、実技711時間）			
主要な機器設備 （参 考）	プロジェクター用スクリーン		

科目の内容・細目シート

科目	農業基礎	時間	51	
到達水準	植物の仕組みについて知っている			
	農業の経営について知っている			
	肥料について知っている			
	農薬の使用法について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 稲作	イネの苗作りから収穫まで	6		
(2) 土作り	土作りの意義、方法、効果	6		
(3) 肥料	肥料の役割と施肥設計	6		
(4) 植物生理	植物の仕組み	3		
(5) 野菜	野菜栽培技術全般	6		
(6) 温室基本栽培	温室野菜栽培技術	6		
(7) 有機農業	有機農業の技術	6		
(8) 育苗	苗作り、管理	6		
(9) 作物保護	作物の病気	6		
		合計	51	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	栽培・飼育計画	時間	9	
到達水準	イネの栽培について知っている			
	ムギの栽培について知っている			
	ダイズの栽培について知っている			
	ソバの栽培について知っている			
科目の内容	内容の細目		訓練時間	
(1) 栽培計画、飼育計画 (2) 栽培歴、飼育歴	作物の栽培計画 作物の栽培時期		3	
			6	
		合計	9	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	農業経営	時間	9	
到達水準	農業経営を理解できる			
	農業法人について知っている			
	流通について知っている			
	関係法令について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 農業経営 (2) 農業法人 (3) 関係法令	原価と原価計算の方法	3		
	企業経営（農業法人）の経営分析・診断	3		
	関係法律	3		
		合計	9	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	農業機械の基本操作	時間	9	
到達水準	農業機械の種類について知っている			
	トラクタの操作方法を知っている			
	点検整備を知っている			
	農作業の安全について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 安全基本操作 (2) 保守点検、農具操作方法 (3) 農具整備	乗用トラクタ、歩行トラクタなど農業機械の基本操作	3		
	安全に繋がる整備方法	3		
	農具の修理	3		
		合計	9	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	家畜飼育	時間	9	
到達水準	家畜について知っている			
	家畜の特性について知ってる			
	病気と予防について知っている			
	畜舎について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 家畜の一生、家畜の特性 (2) 繁殖、飼育と栄養 (3) 病気と予防衛生、生産、畜舎	家畜の役目	3		
	繁殖、飼育の方法と栄養	3		
	病気について、畜舎の管理	3		
		合計	9	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	農畜産加工	時間	9	
到達水準	6次産業について知っている			
	保存食について知ってる			
	肉、野菜に付加価値をつけることを知っている			
	商品化について知っている			
科目の内容	内容の細目		訓練時間	
(1) 農畜産加工 (2) 農産物の商品化	生産物に付加価値を付ける		6	
	加工したものを商品にするためには		3	
	合計		9	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	農業簿記	時間	30	
到達水準	簿記ソフトを動かせる			
	データを保存できる			
	データを読み込みできる			
	経営判断ができる			
科目の内容	内容の細目		訓練時間	
			学科	実技
(1) はじめてのパソコン	演習用テキスト、演習CD		30	
			合計	30
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	パソコン事務処理	時間	21	
到達水準	キーボードで文字が打てる			
	データの保存ができる			
	データのコピーができる			
	ワード・エクセルができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) パソコン事務処理	ワード・エクセルによる事務処理	21		
		合計	21	
使用する機械器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	販売業務	時間	39	
到達水準	販売業務について知っている			
	マーケティングについて知っている			
	販売について知っている			
	経営について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 販売業務基礎知識	販売に関する基礎知識	12		
(2) マーケティング概論	マーケットについて	12		
(3) 販売経営管理	経営管理	15		
		合計	39	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	安全衛生	時間	6	
到達水準	機械装置の点検時の注意事項について知っている			
	首手ぬぐい、腰タオル等の捲き込み事故の原因となる服装について知っている			
	作業着の袖口のボタンをはずしたままの作業や、袖口のほつれなどによる危険性について知っている			
	手袋の捲き込みの危険のある作業について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 安全点検	安全に関する基礎知識	3		
(2) 作業着の準備・確認	安全のはじめは作業着から	3		
		合計	6	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	就職支援	時間	27	
到達水準	応募書類の作成ができる			
	面接での受け答えができる			
	マナーを知っている			
	就職する意欲がある			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 応募書類の作成指導	履歴書の書き方	12		
(2) 面接指導	面接の仕方	6		
(3) ビジネスマナー、キャリアコンサルタント	マナーについて	3		
(4) 就職相談	就職相談	6		
		合計	27	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	農業実習	時間	567	
到達水準	イネ苗の育苗、田植え、収穫ができる			
	堆肥散布、耕起、畝たて、マルチ張りができる			
	床土、播種、灌水、接ぎ木ができる			
	トマト、ナス、キュウリの整枝、誘引など管理作業やダイコンの間引きができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 稲作	イ、準備		6	
	ロ、植え付け		6	
	ハ、管理		6	
	ニ、収穫		6	
(2) 野菜基本栽培	野菜栽培技術全般		180	
(3) 露地野菜栽培	野菜栽培技術全般		210	
(4) 温室野菜栽培	温室野菜栽培技術		57	
(5) 育苗	苗作り、管理		30	
(6) 作物保護	作物の病気		48	
(7) 有機農業	有機農業の技術		18	
		合計	567	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	農業機械の基本操作	時間	30	
到達水準	乗用トラクタを上手に操作できる			
	歩行トラクタを上手に操作できる			
	刈り払い機を上手に操作できる			
	小農具（ホー、クワ）の操作が上手にできる			
科目の内容	内容の細目		訓練時間	
			学科	実技
(1) 安全基本操作	農業機械を安全に操作するための基本的な実技			12
(2) 保守点検	安全に繋がる保守点検			3
(3) 農具操作方法	農具の扱い方			12
(4) 農具整備	農具の整備の仕方			3
			合計	30
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	畜産実習	時間	18	
到達水準	家畜に触れる			
	餌を与えられる			
	糞の片付けができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 家畜飼育 (2) 家畜管理	家畜の飼育方法		12	
	家畜の管理の仕方		6	
		合計	18	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	農畜産加工	時間	42	
到達水準	漬物を上手に漬けることができる			
	ピザを上手に作ることができる			
	うどんを上手に作ることができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 農畜産加工	ソーセージ作り		24	
(2) 農産物の加工	小麦粉の加工、野菜の加工		18	
		合計	42	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	職場体験	時間	30	
到達水準	挨拶ができる			
	指示された作業を上手にできる			
	コミュニケーションができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 農業生産法人	農業法人で実際に仕事を経験する		24	
(2) 職場体験	体験		3	
(3) 職場見学	見学		3	
		合計	30	
使用する機械 器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	資格取得	時間	24	
到達水準	機械操作ができる			
	法令を知っている			
	安全について知っている			
科目の内容	内容の細目		訓練時間	
(1) 小型車両建設機械作業免許 (2) 小型フォークリフト作業免許	ホイールローダ、パワーショベルの操作を習得する			12
	フォークリフトの操作を習得する			12
			合計	24
使用する機械 器具等				
備考				

使用教材リスト

訓練科名：農業者育成科

教材名	出版社名	教材使用科目（分野）
農業の基礎	農山漁村文化協会	農業基礎（学科）栽培概論（学科） 野菜栽培（学科）
はじめてのパソコン農業簿記 （体験CD付き）	全国農業会議所	農業簿記（学科）
米の作り方	—	稲作（学科）

※上記については、特定の出版社および書籍の宣伝や推奨をするものではありません。最終判断はご利用者自身となりますのでご注意ください。各教材の詳細情報や最新情報を取得したい場合は、出版社情報等を参考に各自でお問い合わせください。

委託訓練モデルカリキュラム

訓練科名	観光総合ビジネス科		就職先の 職務	旅行会社、ホテル、地域案内、 地域特産物製造販売等
訓練期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (6か月)			
訓練目標	①旅行業界に求められる基本的な知識を習得する。 ②茨城県の観光分野の特性等を習得する。 ②販売サービス業における業務知識を習得する。 ③サービス業における介助方法を習得する。 ④ビジネスに必要な語学「英語」及び「中国語」(基礎)を習得する。			
仕上がり像	旅行会社等で受付業務、添乗員業務、旅行プランの作成等ができる即戦力人材となる。また、サービス業における介助技術の習得により高齢者及び障害者への適切な対応、外国語(英語)の習得を通して外国人観光客への対応ができる人材となる。			
訓練 の 内 容	科 目	科 目 の 内 容		訓練時間
	入校式等	入校式、オリエンテーション、修了式		
	安全衛生	VDT作業における労働衛生管理		3時間
	就職支援	就業意識、キャリアコンサルティング、ジョブカード作成支援、応募書類について、面接指導、模擬面接の実施、合同面接会の実施、ビジネスマナー研修		54時間
	観光学基礎	観光概論、観光関連事業、観光政策と観光行政、旅行業のあらまし		30時間
	国内旅行業務	国内旅行業務の基礎知識、旅行会社のしくみ、ホテル概論、危機管理対策、国内地理、観光地・温泉地		51時間
	旅行業法令・約款	旅行業法、旅行業約款、旅程管理各種約款、旅程管理の適正と知識、国内旅行実務料金、旅程管理業務と修了試験		60時間
	いばらき観光学	茨城県の観光分野特性・市場分析・職業人講話・現場見学・ロールモデル・課題に対する課題解決企画講座・ ・模擬ツアー企画・模擬ツアーの実施・茨城観光提案企画作成・外国人目線で企画作成・おもてなし講座・観光分野での助成金補助金活用・プレゼンテーショントレーニング		96時間
	販売業務基礎	小売業の役割と現状、卸売業の役割と現状、流通業のツールとソリューション、流通業の主要活動、物流関連業務、サービス業のビジネスモデル、流通業の今後		30時間
	マーケティング概論	顧客管理・顧客ニーズ、消費者行動とその分析・販売促進・地域を活かしたマーケティング		30時間
販売・経営管理	消費者基本法と消費者契約法、個人情報保護法、主な経営分析指標		21時間	

	サービス介助知識	ホスピタリティ・マインド, ノーマライゼーション, 高齢社会の理解, 高齢者への理解と介助, 障がい者への理解と介助, 障がい者の自立支援について	57 時間
	外国語会話 (英語)	ビジネス (添乗) に必要な基本的な英会話の習得	72 時間
	外国語会話 (中国語)	初級レベルの中国語の理解	12 時間
実 技	観光実務演習	観光客への対応、カウンター業務、案内演習、キャンセル対応、クレーム対応	27 時間
	旅行企画演習	企画旅行商品の作成およびプレゼンテーション、添乗業務の習得、模擬ツアーの実施	30 時間
	職場体験	旅行会社、観光地、観光案内所での職場体験	18 時間
	販売スキル実習	販促方法、ラッピング技術、POP 演習、店舗レイアウト疑似体験、実店舗の見学および従事者との意見交換	39 時間
	サービス介助実習	高齢者疑似体験、車いす操作方法・移乗訓練、聴覚障がいの方への介助、歩行が不自由な方への介助、視覚障がいの方への介助・演習	18 時間
	英語演習	英語版パンフレットを用いた読解演習、英語による案内文章の作成演習、外国人とのコミュニケーション実習	24 時間
	OA 機器操作	文書作成ソフトを使ってのビジネス文書、チラシ作成、表計算ソフトを使っての資料分析、データベース管理、プレゼンテーション作成ソフトを使ってのプレゼンテーション演習	30 時間
訓練時間総合計 702 時間 (学科 516 時間、実技 186 時間)			
主要な機器設備 (参 考)		プロジェクター、インターネット接続パソコン (各自 1 台)、レーザープリンタ	

科目の内容・細目シート

科目	安全衛生	時間	3	
到達水準	安全衛生の必要性、職場での安全衛生について知っている。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1)VDT作業における安全衛生	イ、VDT作業における身体への負担と注意点 ロ、留意事項に対するグループワーク	2		
(2)職場におけるストレス	イ、ストレスとは ロ、ストレスの対処法 ハ、解消方法を検討するグループワーク	1		
		合計	3	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	就職支援	時間	54	
到達水準				
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 就業意識	イ, 職業訓練の意義と目標の設定 ロ, 観光および関連業界の現状	9		
(2) キャリアコンサルティング	イ, 個別キャリアコンサルティングの実施	18		
(3) ジョブカード作成支援	イ, ジョブカード制度について ロ, 作成, 添削および交付	12		
(4) 応募書類について	イ, 履歴書・職務経歴書の書き方とポイント ロ, 個人作成および添削	6		
(5) 面接指導	イ, 面接の心構えと要点のまとめ方 ロ, グループワーク	1.5		
(6) 模擬面接の実施	イ, 受講生間における模擬面接と結果のフィードバック	1.5		
(7) ビジネスマナー研修	イ, 基本的な接遇演習	3		
(8) 合同面接会の実施	イ, 県内関連企業を招いた企業説明会・面接の実施	3		
		合計	54	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	観光学基礎	時間	30	
到達水準	観光とは何かを理解している。			
	観光のしくみを理解している。			
	国内旅行業務の基礎知識を知っている。			
	旅行商品と旅行業務を理解している。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 観光概論	イ, 観光業とは ロ, 観光というビジネスモデルについて	12		
(2) 観光関連事業	イ, 観光とレジャー産業の関係 ロ, ホテル業の位置付け ハ, テーマパークおよび物産販売店の位置付け ニ, 旅行会社と企業の連携	6		
(3) 観光政策と観光行政	イ, 東京オリンピックに向けた国の取り組み ロ, 茨城県における観光行政について	9		
(4) 旅行業のあらまし	イ, 平成に入ってから観光行政の考察 ロ, 観光というサービス業の考え方	3		
		合計	30	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考	国内旅程管理主任者および国内旅行業務取扱管理者の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	国内旅行業務	時間	51	
到達水準	旅行業の課題がわかる。			
	旅行会社の種類がわかる。			
	旅行会社の業務と分類を理解している。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1)国内旅行業務の基礎知識	イ、添乗業務の基本 ロ、レジャー産業の発達と観光 ハ、テーマパークの事例研究	6		
(2)旅行会社のしくみ	イ、旅行会社の仕事と内訳 ロ、旅行会社の営業形態	6		
(3)ホテル概論	イ、ホテルサービスとしてのホスピタリティ ロ、ホテル内の部門の詳細	6		
(4)危機管理対策	イ、危機管理対策の重要性と旅程における場面の紹介 ロ、グループワーク	6		
(5)国内地理、観光地・温泉地	イ、日本各地の観光地、温泉地、名所、世界遺産の確認 ロ、白地図演習	27		
		合計	51	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考	国内旅程管理主任者および国内旅行業務取扱管理者の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	旅行業法令約款	時間	60	
到達水準	旅行業法を理解している。			
	旅行業約款、各種約款を理解している。			
	旅程管理の基礎知識と適性について理解している。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 旅行業法	イ, 旅行業法及びこれに基づく命令 ロ, 景表法・消費者契約法	3		
(2) 旅行業約款	イ, 標準旅行業約款 ロ, 国内旅客運送約款	3		
(3) 旅程管理各種約款	イ, 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款 ロ, 保険約款 ハ, フェリー標準運送約款 ニ, モデル宿泊約款	21		
(4) 旅程管理の適性と知識	イ, 旅程管理の適性と知識	9		
(5) 国内旅行実務料金	イ, 旅行鉄道会社 (JR) ロ, 保険約款 ハ, 旅客営業規則/乗車券類発売/運賃・料金変更・取消・払戻/団体乗車券 ニ, 社線・宿泊	18		
(6) 旅程管理業務と修了試験	イ, 旅程管理業務のまとめと修了試験	6		
		合計	60	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考	国内旅程管理主任者および国内旅行業務取扱管理者の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	いばらき観光学	時間	96	
到達水準	行政の取り組みを理解し、観光施策の立案を行うことができる。			
	業務上必要な国内地理についての知識を有している。			
	旅行者に対する「おもてなし」の心を理解し実践することができる。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 茨城県の観光分野特性	イ、地域資源を利用した着地型観光 ロ、茨城の魅力をあげるためには ハ、茨城県の観光の現状	6		
(2) 市場分析	イ、つくばの魅力を探る つくばを歩く ロ、つくばの魅力を探る つくばを学ぶ ハ、つくばの魅力を探る つくばを食べる ニ、つくばの魅力を探る つくばで美しくなる	3		
(3) 職業人講話	イ、茨城県の広報宣伝方法 ロ、茨城県の特産品販売	9		
(4) 現場見学	イ、県内店舗の見学	6		
(5) ロールモデル	イ、事例に基づく店舗販売の有りかた	3		
(6) 課題に対する課題解決企画講座	イ、茨城県の観光行政が抱える課題の検討と取り組み	3		
(7) 模擬ツアー企画（実施）	イ、いばらき（つくば）の魅力を再発見するツアー企画の作成	45		
(8) 茨城観光提案企画作成	イ、いばらきの魅力を伝えるための情報探し ロ、グループワーク	6		
(9) 外国人目線で企画作成	イ、外国人旅行者の注意点とアピールポイント探し	3		
(10) おもてなし講座	イ、サービス業におけるおもてなしの心	6		
(11) 観光分野での助成金補助金活用	イ、地域振興に関わる補助金および実例の紹介	3		
(12) プレゼンテーショントレーニング	イ、企画商品発表の効果的な伝え方	3		
		合計	96	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考	国内旅程管理主任者および国内旅行業務取扱管理者の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	販売業務基礎	時間	30	
到達水準	小売業の類型がわかる			
	マーチャンダイジングの構成要素がわかる			
	商品計画の基礎知識を理解している			
	ストアオペレーションの構成要素が分かる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1)小売業の役割と現状	イ, 流通機構における小売業の役割 ロ, 主要商品の流通経路 ハ, 販売経路における小売業の位置付け	6		
(2)卸売業の役割と現状	イ, 販売経路における卸売業の位置付け ロ, 卸売業とメーカーの位置付け	3		
(3)流通業のツールとソリューション	イ, 組織小売業の種類と特徴 ロ, 販売形態の種類と特徴	3		
(4)流通業の主要活動	イ, 小売業の社会的役割とその活動について	3		
(5)物流関連業務	イ, 物流業界の現状と今後の業務改革 ロ, 物流発注と在庫管理	6		
(6)サービス業のビジネスモデル	イ, スーパー, ホームセンター, ドラッグストア, コンビニエンスストアの特徴	6		
(7)流通業の今後	イ, 流通業の構造変化と対応策	3		
		合計	30	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考	日本商工会議所販売士3級試験の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	マーケティング概論	時間	30	
到達水準	小売業のマーケティングについて理解している			
	顧客満足度について理解している			
	販売促進策について理解している			
	売り場づくりの考え方がわかる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1)顧客管理, 顧客ニーズ	イ, 小売業のマーケティング ロ, マーケティング・リサーチ マーケティングの4P ハ, 顧客満足経営とは ニ, FSPの考え方 ホ, 消費者ニーズの把握	12		
(2)消費者行動とその分析	イ, 消費者ニーズの把握 ロ, 立地条件 ハ, マーチャンダイジングに基づいた商品計画	6		
(3)販売促進	イ, 売場づくりの方法 ロ, 光源と色彩 ハ, POPの役割 ニ, 店舗管理と業務知識	6		
(4)地域を活かしたマーケティング	イ, 競争店調査について ロ, 立地条件 ハ, 商圈について	6		
		合計	30	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考	日本商工会議所販売士3級試験の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	サービス介助知識	時間	57	
到達水準	サービス提供時において想定されるリスク（利用者およびケアスタッフの安全・衛生面におけるトラブル、コンプライアンス上のトラブル、人的トラブル、物的トラブル、経済的トラブル等）について、基本的事項を理解している。			
	相談・援助スタッフに求められる職業倫理（守秘義務、人権擁護、個人情報保護等）に即して行動している。			
	コミュニケーションの重要性について理解している			
	受容、共感、傾聴、感謝の心構えをもってケアに取り組んでいる。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1)ホスピタリティ・マインド	イ、日本のホスピタリティ・マインド ロ、ホスピタリティにおける欲求5段階 ハ、おもてなしの心とは ニ、介助の心構え	15		
(2)ノーマライゼーション	イ、ノーマライゼーションとは ロ、ノーマライゼーションの必要性 ハ、ノーマライゼーション教育 ニ、障害の種類と概念	12		
(3)高齢社会の理解	イ、高齢社会の現状 ロ、高齢者のライフスタイル	5		
(4)高齢者への理解と介助	イ、加齢による身体の変化 ロ、高齢者のかかりやすい病気 ハ、高齢者への介助方法 ニ、認知症に関する理解	8		
(5)障がい者への理解と介助	イ、聴覚・視覚障がい者に対する理解 ロ、知的障がい者に対する理解 ハ、障がいへの介助方法	10		
(6)障がい者の自立支援について	イ、身体障害者補助犬法の理解 ロ、ユニバーサルデザインについて ハ、障がいへの応対方法	7		
		合計	57	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	販売経営管理	時間	21	
到達水準	販売員の目的と役割を理解している			
	販売関連の法規について基本的な部分を理解している			
	計数管理・利益計算の方法を知っている			
	コミュニケーションの重要性について理解している			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 消費者基本法と消費者契約法	イ, 各種法令の理解と社会的取り組み	6		
(2) 個人情報保護法	イ, 各種法令の理解と社会的取り組み	6		
(3) 主な経営分析手法	イ, 計数管理の基本	9		
	ロ, 利益獲得のフローと利益の種類			
	ハ, 利益計算の方法			
	ニ, 決算についての基礎知識			
	ホ, 販売事務のながれと対応			
	合計	21		
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター			
備考	日本商工会議所販売士3級試験の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	外国語会話（英語）	時間	72	
到達水準	簡単な英文レターや英文資料を適正に解釈している。			
	約3,000語の語彙力、基本的な文法・構文（高等学校中等学年程度の学習内容）のを理解している。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1)ビジネス（添乗）に必要な基本的な英会話の取得	イ、観光英語に必要な語彙の習得 ロ、リスニングによる単語の書き取り ハ、疑問詞の効果的な使い方 ニ、映像をみながらの単語の聞き取り ホ、職業別に必要な語彙の修得 ヘ、発音の確認 ト、添乗の場面における文章の作成 チ、自己紹介の例文作成 リ、ロールプレイ コミュニケーション	72		
		合計	72	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			
備考	全国語学ビジネス観光教育協会「観光英検」の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	外国語会話（中国語）	時間	12	
到達水準	初歩的な中国語の理解ができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 初級レベルの中国語の理解	イ、中国語の発音とピンイン ロ、中国文化の理解と単語の習得 ハ、挨拶・自己紹介の基本構文	12		
		合計	12	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	観光実務演習	時間	27	
到達水準	運賃、宿泊料規定の案内ができる			
	クレーム・トラブルへの迅速な対応ができる			
	顧客の国内旅行相談に対応できる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1)観光客への対応	イ、添乗業務の基本 ロ、接遇について		6	
(2)カウンター業務	イ、「相談業務・販売業務」業務上のポイント		6	
(3)案内演習	イ、添乗案内のポイント ロ、演習		9	
(4)キャンセル対応クレーム対応	イ、迅速な対応と原因究明の重要性		6	
		合計	27	
使用する機械 器具等	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	旅行企画演習	時間	30	
到達水準	商品コンセプトを提案することができる			
	商品のコースを作成できる			
	的確な日数、出発日を設定できる			
	商品にふさわしいコース名をつけることができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 企画旅行商品の作成およびプレゼンテーション	イ, 観光企画づくりの基本 ロ, 地域情報の探し方 ハ, 企画作成グループワーク ニ, 企画商品のプレゼンテーション作成 ホ, 企画商品のプレゼンテーション実施		24	
(2) 添乗業務の習得	イ, 案内演習 ロ, 添乗に必要なツールの作成準備		3	
(3) 模擬ツアーの実施準備	イ, ツアー客を実際に招いた旅程およびおもてなしの実践		3	
		合計	30	
使用する機械器具等備考	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			

科目の内容・細目シート

科目	職場体験	時間	18	
到達水準	旅行会社、観光地、観光案内所での職場体験を行う			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1)旅行会社、観光地、観光案内所での職場体験	イ、物販施設およびテーマパークにおける手配案内業務見学 ロ、観光地における手配業務の確認 ハ、都内、各都道府県アンテナショップの見学 ニ、実際に訪問した見学先の報告会および振り返り		18	
		合計	18	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	販売スキル実習	時間	39	
到達水準	挨拶・笑顔・お辞儀・言葉使いの基本動作ができる			
	待機・アプローチ・ニーズ把握ができる			
	お客様と共感的な会話ができる			
	売場の方針・目標に沿った販売活動ができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 販促方法	イ、カスタマーディライトでおもてなしの向上 ロ、心地よい人との接し方 ニ、ミステリーショッパーについて ホ、Webを使った販促方法の検討 へ、管理者の役割と立場 ト、接客の基本 チ、接客マニュアルの作成と研修		21	
(2) ラッピング技術	イ、商品ラッピングの基本知識 ロ、演習		3	
(3) POP演習	イ、コメントの作り方とPOPの基本 ロ、魅力ある手書きPOPの作成 ハ、演習		6	
(4) 店舗レイアウト疑似体験	イ、ディスプレイの重要性 ロ、陳列演出の基本と例示		3	
(5) 実店舗の見学および従事者との意見交換	イ、視察研修 ロ、グループワーク考察		6	
		合計	39	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			
備考	日本商工会議所販売士3級試験の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	サービス介助実習	時間	18	
到達水準	作業に合わせて声かけができる			
	福祉用具（杖、補装具、車イス等）の準備、点検ができる			
	歩行介助ができる			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 高齢者疑似体験	イ、身体に負荷をかけた状態での日常行動 ロ、高齢者の活動のついて		5	
(2) 車いす操作方法・移乗訓練	イ、車椅子の名称と種類 ロ、車椅子の基本操作 ハ、走行体験（階段、坂道、段差） ニ、車椅子への移乗方法		3	
(3) 聴覚障がいの方への介助	イ、聞こえの性質を知る ロ、音の分類 ハ、残存聴力について		3	
(4) 歩行が不自由な方への介助	イ、肢障がいの理解 ロ、杖歩行の体験		3	
(5) 視覚障がいの方への介助・演習	イ、場面ごとの手引方法 ロ、食事の介助 ハ、コミュニケーションのとり方		4	
		合計	18	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター 車椅子 杖 タオル			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	英語演習	時間	24	
到達水準	海外グループ旅行の時、少数の同僚と一緒に英語を使って行動することができる。			
	国内で外国人に道案内やパンフレット類を英語で説明出来る。			
	国内で外国人に観光地や名所旧跡等を英語で紹介出来る。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) 英語版パンフレットを用いた読解演習	イ、ボキャブラリートレーニング ロ、文法の理解と和訳のポイント		10	
(2) 英語による案内文章の作成演習	イ、添乗案内文の作成および添削 ロ、グループワーク演習		10	
(3) 外国人とのコミュニケーション実習	イ、実際の旅行の場面を想定したコミュニケーション ロ、演習		4	
		合計	24	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			
備考	全国語学ビジネス観光教育協会「観光英検」の試験概要による評価基準			

科目の内容・細目シート

科目	OA機器操作	時間	30	
到達水準	書式通りに文書を作成ができる			
	簡単な帳票類の作成ができる。			
	プリント操作ができる。			
	収集した資料を理解し、まとめることができる。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
(1) ビジネス文書、チラシ作成	イ, Wordの基本知識 ロ, レイアウト方法と印刷 ハ, 配色の基本とグラフィック操作		9	
(2) 資料分析、データベース管理	イ, Excelの基本知識 ロ, 表作成および基本的な関数の使用 ハ, データベース操作の活用 ニ, グラフ作成と関数を使った資料分析		9	
(3) プレゼンテーション演習	イ, PowerPointの基本知識 ロ, スライド作成のポイント ハ, プレゼンテーションの発表方法 ニ, 視覚的効果を上げるためのデザインとレイアウト		12	
		合計	30	
使用する機械器具等	ノートパソコン プロジェクター スピーカー			
備考				

使用教材リスト

訓練科名：観光総合ビジネス科

教材名	出版社名	教材使用科目（分野）
旅行業法・旅行業約款	新旅行資格会	旅行業法令・約款（学科）
旅程管理研修	新旅行資格会	旅行業法令・約款（学科） 旅行企画演習（実技） 観光実務演習（実技）
観光学基礎	JTB総研	観光学基礎（学科） 国内旅行業務（学科）
観光概論	JTB総研	観光学基礎（学科） 国内旅行業務（学科）
PASSPORT Plus	Oxforduniv.	外国語会話（英語）（学科）
Microsoft Word2016& Excel2016 Power Point2016	FOM出版	OA機器操作（実技）
地域資源を活かした着地型観光、他（レジュメ）	—	いばらき観光学（学科） 販売スキル実習（実技）
英語演習資料（レジュメ）	—	英語演習（実技）
VDT作業における労働衛生管理とメンタルヘルス	—	安全衛生（学科）
販売士3級 ポケットマスター〈第2版〉	TAC出版	販売基礎業務（学科） マーケティング概論（学科） 販売経営管理（学科）
サービス介助士高齢者への理解と介助	株式会社ユーキャン	サービス介助知識（学科） サービス介助実習（実技）
サービス介助士障がい者への理解と介助	株式会社ユーキャン	サービス介助知識（学科） サービス介助実習（実技）
中国語入門レジュメ	—	外国語会話（中国語）（学科）

※上記については、特定の出版社および書籍の宣伝や推奨をするものではありません。最終判断はご利用者自身となりますのでご注意ください。各教材の詳細情報や最新情報を取得したい場合は、出版社情報等を参考に各自でお問い合わせください。